

時間割コード	G2B5E201	開講年度	2026			
授業題目	地球の鼓動と暮らす：災害・資源・文化を読み解く【EA】				担当教員	吉田 孝紀
英文授業名	The Earth's Dynamics and Human Life: Exploring Disasters, Resources, and Culture					津金 達郎
単位数	2	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室		授業形態	e-Learning	遠隔授業科目	該当	備考
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	大学DP 学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					・自然災害の地学的背景を理解し、説明できるようになる。 ・学習結果を整理し、論理的にまとめられるようになる。 ・地域の防災・景観・文化について科学的視点から課題を発見できるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、防災減災					
(3)全学横断特別教育プログラム	ShinXiaコース(ShinXia)					
(4)授業の概要	長野県は山岳地帯に位置し、日本の中でも地殻変動が活発な地域の一つである。地殻変動は大きな災害を直接的・間接的にもたらす一方で、多様な地形や環境を形成し、温泉や地下資源など社会的な利益も生み出してきた。この講義では、長野県の景観を含む資源に関わる地学的環境を解説するとともに、地域ごとの自然災害について説明する。その上で、災害の教訓を伝える手段としての伝承にも触れる。さらに、具体的な事例として長野県諏訪地域を訪れ、地殻変動がもたらす資源と災害リスクの双方を理解し、地域利用と防災のバランスについて議論する。 内容は以下のとおりである。 (1)講義（オンライン・9回）：長野県の地形・地質・資源と災害伝承を学ぶ。 (2)野外演習（1回）：諏訪湖周辺の地学的特性を知り、災害と景観・地下資源、さらに地域文化との接点を学ぶ。					
(5)授業のキーワード	災害，伝承，景観，地下資源					
(6)授業計画	第1回 長野県の地質と地殻変動への招待（講義） 授業の目的、進め方、評価方法を説明した上で、長野県の地質と地殻変動について理解する。 第2回 長野県の地勢・地質（講義） 長野県の地形の特徴とその背景にある地質について理解する。 第3回 自然災害と地形・地質との関係（講義） 斜面災害や洪水、地震などの災害と地質との関係について理解する。 第4回 長野県の資源（講義） 長野県における景観や地下資源の成り立ちについて理解する。 第5回 長野県の災害と伝承1（講義） 長野県北部で生じた自然災害とその伝承について理解する。 第6回 長野県の災害と伝承2（講義） 長野県中部で生じた自然災害とその伝承について理解する。 第7回 長野県の災害と伝承3（講義） 長野県南部で生じた自然災害とその伝承について理解する。 第8回 諏訪地域の地形と資源（講義） 諏訪地域の地形と資源について理解する。 第9回 諏訪地域の災害（講義） 諏訪地域の災害について理解する。 第10回 諏訪湖フィールドワーク（室内・野外演習） 諏訪臨湖実験所での講義と諏訪湖周辺を徒歩で巡る野外演習を実施する。これによってこの地域の地学的特性と災害の痕跡について理解する。また、室内講義によって地学的特性と文化との接点について理解する。講義時間の最後にはアンケートを実施する。					
(7)成績評価の方法	・小テスト、短いレポート（各回5点×9）45点 ・諏訪臨湖実験所での室内・野外講義レポート(室内講義と野外演習で得た情報をまとめ、諏訪地域の地学的特性と災害・文化の関係を考察) 35点 ・事後レポート（長野県の資源、災害、地学的特性の関係についてまとめる） 20点 レポートは全てオンラインで提出する。合計60点以上を合格とする。					
(8)成績評価の基準	提出物のレポート等による総合点による。 ・90点以上：卓越している。 ・80点以上：かなり上にある。					

(8)成績評価の基準	・70点以上：やや上にある． ・60点以上：その水準にある．
(9)事前事後学習の内容	事前学習として長野県の地質の概要を調べる． 事後学習として諏訪での野外演習で得た情報を整理し、災害と資源の関係を考察する．
(10)履修上の注意	各回の講義動画を着実に視聴して、小テストを受けること。「後でまとめて見る」ことは困難です．最終回の諏訪での室内・野外講義は信州大学諏訪臨湖実験所で行う1日がかりの講義・演習です．午前中の室内講義と午後の野外演習からなり、動きやすい服装が必要です．雨天でも実施します．
(11)質問,相談への対応	メールで連絡：kxyoshid@shinshu-u.ac.jp へ
(12)授業への出席	9回目の対面授業以外はオンデマンドです．
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	対面授業での欠席については学習補充はありません．
【教科書】	なし
【参考書】	参考文献はeAlps上で紹介します．